

水痘・帯状疱疹ワクチン

●帯状疱疹とは？

帯状疱疹は、水痘（水ぼうそう）と同じウイルスによって起きる皮膚の病気です。体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に水ぶくれを伴う赤い発疹が出現する病気です。

●帯状疱疹発症の原因は？

水痘に罹ると治った後もそのウイルスが体の中(脊髄から出る神経節)に潜んでいます。普段は体の免疫力によってウイルスの活動が抑えられているため発症することはありませんが、加齢やストレスによって免疫力が低下するとウイルスは再び活動、増殖しはじめます。日本人成人の**90%以上**が帯状疱疹になる可能性があり、**80歳までに3人に1人**が発症すると言われています。特に**50歳代**から発症しやすくなります。

●帯状疱疹の後遺症は？

帯状疱疹が治ったあとに頑固な神経痛（帯状疱疹後神経痛：PHN）が残ることがあります。加齢とともにPHNへの移行リスクは高くなり、**50歳以上**の患者さんの約**2割**が移行すると報告されています。

●帯状疱疹を予防するには？

帯状疱疹の予防には、50歳以上の方を対象としたワクチンがあります。水痘に罹ったことがある人は、すでに帯状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得していますが、年齢とともに弱まってしまうため、改めてワクチン接種を行い、免疫を強化することで帯状疱疹を予防します。予防接種は帯状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、たとえ発症しても症状が軽くすむとされています。

●帯状疱疹ワクチンとは？

帯状疱疹ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類のワクチンがあります。生ワクチンは、病原性を弱めた病原体そのものを成分としたワクチン（麻しん・風しん混合ワクチン、BCGワクチンなど）で、不活化ワクチンは感染力をなくした病原体の一部を成分としたワクチン（インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンなど）です。

	生ワクチン	不活化ワクチン
対象	50歳以上・任意	50歳以上・任意
接種方法	1回・皮下注射	2回・筋肉注射(2回目:2ヶ月～6ヶ月の間に)
帯状疱疹発症予防効果	51.3%	97.2%(50歳以上) 89.8%(70歳以上)
帯状疱疹後神経痛予防効果	66.5%	88.8%
予防効果持続期間	3～5年	9年以上
副反応 (3～7日で消失)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 接種部位の痛み、腫れ、発赤 ➢ 水痘様発疹 ➢ アナフィラキシーショック 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 接種部位の痛み、腫れ、発赤 ➢ 筋肉痛 ➢ 発熱 ➢ 全身倦怠感 ➢ アナフィラキシーショック
使用できない人 注意が必要な人	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 免疫機能が低下している人 ➢ 抗がん剤、免疫抑制剤、ステロイドなど免疫が低下する治療を受けている人 ➢ 透析中の人 ➢ 授乳中・妊娠中の人 ➢ アレルギー症状を起こしたことがある人 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ アレルギー症状を起こしたことがある人
費用	8,000円	20,000円/回 × 2回 = 40,000円
メリットとデメリット	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 費用が安く、接種が1回 ➢ 予防効果が低く、効果持続期間も短い 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 予防効果が高く、効果持続時間も長い ➢ 費用が高く、接種が2回